

## 自衛隊家族会海老名・綾瀬地区会「陸自土浦駐屯地研修」を支援



武器学校小火器コーナーを見学する会員

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山 1 海尉）は、11月10日（金）、自衛隊家族会海老名・綾瀬地区会の陸自土浦駐屯地部隊研修を支援した。土浦駐屯地は、武器学校が駐屯し、戦前は予科練で有名な「土浦海軍航空隊」が設置されていた。当家族会は、かねてより研修先として希望していた場所である。今回は、大槻会長以下16名が参加した。

研修では、武器学校小火器コーナーにて、歴史ある様々な種類の銃の展示を見学し、杖の形をした特殊な銃に参加者は「このような形状に作成するなんて、すごい技術ですね」と関心と驚きを見せていた。

続いて、航空母艦を模した建物「雄翔館」にて、予科練出身戦没者の遺影や遺品などを見学し、遺書を読んだ参加者は「全国の平和記念館に行きましたが、いつも胸が熱くなり涙が出てきます」と先人たちの思いを噛みしめている様子だった。

研修の最後に大槻会長は「本研修で学び、感じた事を地域の方々に伝えただけならば」という言葉で締めくくっていた。

厚木募集案内所は、今後も部隊研修などの支援を通じて、自衛隊に対する理解を深めてもらえるよう努力していくとしている。

## 川崎市中原区「なかはら“ゆめ”区民祭」にて自衛隊をPR



迷彩服を試着してポーズをとる兄弟

神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 白 若 1 陸尉）は、11月12日（日）、川崎市中原区等々力緑地において開催された「第39回なかはら・ゆめ・区民祭」にて広報PRを入を設置し、自衛隊をPRした。

当日は天候に恵まれ、会場では模擬店やステージ公演、みこしパレードなどが実施され、約3万6千人が来場した。

自衛隊ブースには、多くの家族連れが訪れ、災害派遣活動パネルや南極の石、非常用糧食などを興味深く見学していた。

また、迷彩服を試着しての写真撮影は、行列ができるほど人気を集め、来場者は、思い通りに撮影を楽しんでいる様子だった。

川崎出張所は、今後も多くの方々に自衛隊をPRし、自衛隊への関心を喚起し、募集成果に繋げていきたいとしている。

## 川崎市宮前区民祭にて自衛隊をPR

### ～はまにゃん人気～



人気を集める「はまにゃん」



広報活動する神地本「はまにゃん」と川崎フロンターレ「フロン太君」

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋 准陸尉）は、11月19日（日）、川崎市宮前区役所で実施された「第36回宮前区民祭」に神奈川地本マスコット「はまにゃん」と共に参加し、自衛隊をPRした。

当日は天候にも恵まれ、地元の団体による模擬店や展示、ステージでのパフォーマンスが行なわれ、多くの来場者で賑わった。

はまにゃんは、宮前区のマスコット「宮前兄妹」やJリーグ・川崎フロンターレの「フロン太君」と共に愛嬌のあるしぐさで会場内を練り歩き、子供たちの写真撮影に応じては、3等海曹と書かれた自身の写真入り名刺を広報官を通じて手渡した。受取った児童は「ありがとう」と話し、うれしそうに見入っていた。

溝の口募集案内所は、今後もイベントなどで多くの方々に自衛隊をPRし、自衛隊への関心の喚起に努めていきたいとしている。